

議会だより

ごごみ より

No.75

平成22年(2010)
11月15日発行

さわやかに 歴史と未来の 出逢うまち



上郡のマスコットキャラクター
円心くんとエイトちゃん

9月定例会

平成21年度の決算を認める P.2~3

付託審査報告 P.4

委員会報告、補正予算
議員研修会、議会あれこれ P.5~6

一般質問 P.7~10

変わりゆくわが町 P.11

新しい議会構成が決まりました P.12~13

郷土・伝統芸能まつり
一響き合う・海と里 P.14



やっと収穫できました

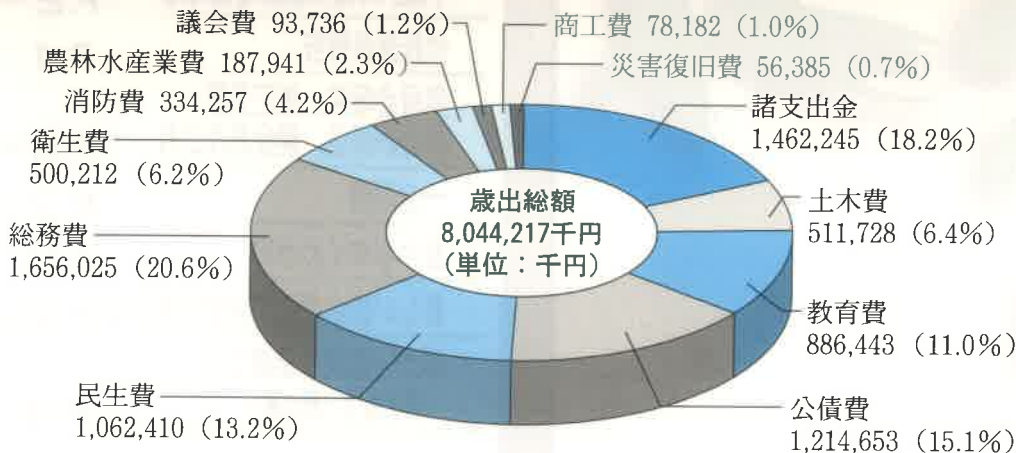
上郡小学校5年生、大持にて



平成21年度の決算を認める

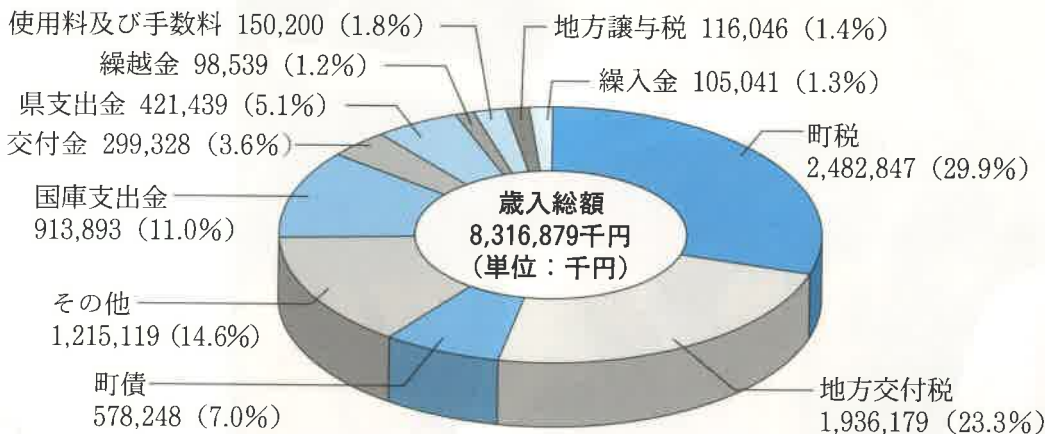
一般会計内訳（歳出）

（単位：千円）



一般会計内訳（歳入）

（単位：千円）



* 各数値は、表示単位未満で四捨五入しており、合計において一致しない場合があります。

9月定例会は9月7日から15日まで7日間開催され、諸報告、7名の議員による一般質問に続き、同意1件、承認1件、報告1件、平成21年度一般会計及び特別会計決算認定12件、議案4件、平成22年度一般会計及び特別会計補正予算9件が上程され、慎重審議の結果すべて原案通りに可決した。請願1件は常任委員会に付託され、本会議で可決され国へ意見書を提出することになった。

平成21年度決算

（単位：円）

会計名	歳入	歳出	
一般会計	8,316,878,722	8,044,217,119	
特別会計（水道事業除く）	4,846,252,027	4,789,726,436	
特別会計内訳	住宅改修建設資金貸付事業	8,418,803	8,082,249
	国民健康保険（事業勘定）	1,751,834,757	1,736,623,022
	国民健康保険（直診勘定）	71,792,973	66,776,752
	老人保健医療事業	4,079,431	4,079,431
	後期高齢者医療事業	200,038,577	200,037,549
	介護保険事業	1,375,962,011	1,358,172,521
	簡易水道事業	187,476,828	186,707,900
	農業集落排水事業	347,651,211	346,623,589
	公共下水道事業	834,570,974	822,665,450
	公営墓園事業	28,729,280	28,729,102
	ケーブルテレビ管理運営事業	35,697,182	31,228,871
	水道事業（収益的收入及び支出）	391,598,868	359,521,975
水道事業（資本的收入及び支出）	481,689,343	471,549,751	

町の財政、健全化判断比率等は良好

健全化判断比率は、夕張市の破綻を契機として問題になった地方自治体の財政状態の悪化を監視する指標として、総務省が平成20年4月に定めたもの。下表の4つの指標のどれか1つが早期健全化基準以上であればその自治体を財政健全化団体と呼び、公表した年度の末日迄に「財政健全化計画」を定めることが求められている。また将来負担比率を除く3つの数値のうち1つでも財政再生基準以上であれば、公表年度の末日迄に「財政再生計画」を定めねばならない。

資金不足比率は公営企業（上郡町では水道事業会計と特別会計の簡易水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業の計4会計）の資金不足額が事業の規模（営業収益等）の20%を超えると、経営健全化計画を定めねばならない。

健全化判断比率 (%)

	平成21年度決算	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—*	15.0	20.0
連結実質赤字比率	—*	20.0	40.0
実質公債費比率	17.0**	25.0	35.0
将来負担比率	256.5	350.0	

* 実質赤字額及び連結実質赤字額がない場合は、「—」と記載する。
**3ヶ年の平均値

資金不足比率 (%)

	平成21年度決算	経営健全化基準
水道事業会計	—*	20.0
公共下水道事業	—*	20.0
農業集落排水事業	—*	20.0
簡易水道事業	—*	20.0

* 資金不足が生じない場合は、「—」と記載する。

監査委員の意見

○健全化判断比率等

実質赤字比率を表す4指標の数値及び資金不足比率共に良好である。

○一般会計及び特別会計

1. 町税等の未収額は前年より451万7千円減少したが、税の公平負担・財源確保のため悪質滞納者等に対し積極的な滞納処分を進めるなど、一層の努力を図るべき。

2. 不納欠損処分額は町税、国民健康保険税合わせて前年より152万5千円増加した。破産・生活困窮等やむを得ない理由だが早めに手を打ち、不納欠損を回避されたい。

3. 社会教育施設の使用料収入は増加傾向だが、財源確保のため創意工夫し各施設の利用率向上に努められたい。

4. 扶助費など決算額を把握し難いものもあるが、不用額は節減努力の結果と評価する。

5. 予算流用は法的に認められているが、安易な流用は議会議決の趣旨にそぐわず、必

要最小限度に努められたい。

6. 町有地については、売却用地の洗い出し等を継続し、インターネット公売等を活用し歳入確保に努められたい。

○水道事業会計

平成22年7月31日現在徴収率は99・33%で未収金は0・17%増加している。健全な運営確保のため、未収金の解消に向け努力されたい。第5次拡張事業推進のため、今後も健全な財政運営維持に努力するとともに、給水原価が供給単価を上回る状況が続く場合は給水原価に見合う料金への改定の検討も必要。

平成21年度一般会計決算認定

【反対討論】

▼工藤 崇 議員 ▲

一部納得のいかない点を述べる。1. 町長の200万円の預かり金問題は、町長及び町政への信頼の失墜を招いた。2. 給食センター実現の公約の不履行の懸念。3. 人口減少・少子化に対し危機感、具

【賛成討論】

▼小寺政広 議員 ▲

厳しい財政状況の中で地域活性化と定住促進、子育て支援と高齢者の外出支援、安心安全を最重点施策とした取組みで、町民の要望が実現されている。また町債残高を242億円に減じたことを評価する。

同意案件

教育委員会委員の山本善治朗氏が平成22年9月30日で任期満了。引続き同氏の選任に同意した。

住所 上郡町西野山95
氏名 山本善治朗
生年月日 昭和16年9月5日

付託審査報告

総務文教常任委員会

(9月10日開催)

○平成21年度一般会計の決算を認める

当局の決算概要説明の後、監査委員の報告・意見書を参考に歳出歳入決算の係数と帳簿類と証拠書類等の照合を行い、執行の適否確認、基金運用と財産管理の審査を行った。その結果経理は正確に処理され執行も良好であり、認定すべしと全委員の意見が一致。

〔意見〕

- ・遊休地売却では、宅地購入者への特典付与等も検討せよ。
- ・予算流用が目立つ。本来は補正措置が原則であり、流用は極力避けること。
- ・行財政改革の事務事業見直しは、現況では時間がかかり過ぎ、なお一層の努力を望む。

○平成21年度特別会計

「ケーブルテレビ管理運営事業」の決算を認める

当局の決算概要の説明の後関係諸帳簿の照合と執行の適否の審査を行った。その結果経理は正確に処理され執行も良好であり、認定すべしと全委員の意見が一致。

○地方公務員法に合わせ、職員給与の一部控除が条例に明記された

審議の結果、改正は国、県の技術的助言に基づくものであり、改正は順当と全委員の意見が一致した。

○基金を積立て大規模改修に備える

大規模改修の発生に備え、ケーブルテレビ施設等の維持管理の実施にむけ基金積立てを行うための条例制定で、その必要性につき全員の意見が一致した。

〔意見〕

- ・他会計への繰替え運用や条文の解釈は慎重に行うように。

○請願書「30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度拡充に関する件」を採択

紹介議員による趣旨説明、兵庫県教職員組合赤相支部派遣の説明者による補足説明を受けた。

当委員会は慎重審議を経て多数決採決を行った。

〔意見〕

- ・30人以下学級とすべき量の根拠が乏しい。
- ・OECD諸国のGDPに占める教育費割合を引合に出しているが、論理的に結び付かない。
- ・少人数学級が、子どもが愛情のこもった教育を享受できる環境整備に実際に繋がるか、疑問である。

以上慎重審議の結果3案件は採択すべきと、2決算は認定すべしと決した。

請願書は本会議での表決の結果採択(賛成9、反対2)となり、国へ意見書を提出することに決した。

民生建設常任委員会

(9月10日開催)

○平成21年度特別会計(10事業)の決算を認める

計数及び経理は正確に処理されており、関係諸帳簿等についても的確に整理され、いづれも良好であった。

・住宅改修建設資金貸付事業

昨年、徴収事務等に関して指摘した事項は改善されたが、依然として未収金があるため、引き続き徴収努力を怠らず、国、県への更なる支援要請も視野に入れることを申し添えた。

・国民健康保険事業

適正な不能欠損の処理と未収金の更なる回収を徹底するよう強く申し添えた。

・老人保健医療事業

特記すべきことなし。

・後期高齢者医療事業

未収金回収の徹底を申し添えた。

・介護保険事業

未収金回収の徹底及び厳格な制度運用をできるように申し添えた。

・水道事業

収益的収支及び資本的収支決算ともに黒字であり、未収金についても、99・3%の徴収率で前年を上回っており努力の跡がある。

昨年に指摘した貯蔵品の管理についても改善されている。

・簡易水道事業

料金の徴収率100%で良好である。

・農業集落排水事業

未収金回収の徹底を申し添えた。

・公共下水道事業

未収金回収の徹底を申し添えた。

・公営墓苑事業

管理手数料が施設維持管理費を下回っている。検討してはどうか。

当委員会は本会計を認定すべきものと決した。

委員会報告

8月26日に総務文教常任委員会が、8月23日に民生建設常任委員会がそれぞれ開催され、各課が行っている事業等の進捗状況などが報告された。

総務文教常任委員会

○あたらしい上郡町地域防災計画の骨子が示される

危険箇所、避難場所、自主防災組織、屋外拡声器の現状を、全自治会に対する意見聴取と現地踏査により把握し、素案策定を進めている。計画の構成は、総則、災害予防計画などの6部構成。素案ができ次第第1回上郡町地域防災会議に諮る予定である。

○学校給食実施への取組み

実施方法につき近隣市町視察、PFI（設計、整備、管理運営まで民間委託）の研修、PFI関連企業へのヒアリング調査を実施。今後事業規模、提供手法、事業費算定を行い12月に基本方針を策定する。

〔質疑〕

問 PFI方式を採用すると地産地消や地元業者育成にはならないのでは。

答 配食数が少なくPFI方式にはならない。

○地域の交通手段はどうなるか

第2回上郡町公共交通対策協議会で連携計画策定調査コンサルタントの提案説明が行われたこと、町内7地区の公共交通検討懇談会で交通手段利用の現状把握・課題聞き取りを9月中に行うこと、が報告された。今年度後半で連携計画素案の作成から実証運転計画策定までを行い、3月に地域公共交通活性化・再生総合事業の申請を行う予定。

○事業評価の進展は

今年度に入り評価事業の選定等を行った。今後、第1次

評価（内部評価）行政改革効果の公表、新年度予算への反映等を町の広報・ホームページ等で公表する。

〔意見〕

・行政改革の効果額累計には意味の無い数字が入っており、行革効果額累計は公表すべきでない。

○金出地ダムはどうなるか

国土交通省が平成21年12月に設置した「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」の中間取りまとめにもとづき、兵庫県が「金出地ダム検討会議」を立ち上げダム建設の検証を行う。委員11名による検討会議3回を予定。



▲ 待たれる完成 金出地ダム

平成22年度予算の補正

（単位：千円）

会計名	補正前	補正額	補正後	主な補正理由	
一般会計	6,852,012	108,117	6,960,129	人事異動に伴う人件費補正・議会中継費用・日本脳炎予防接種費用の補正増等	
特別会計	国民健康保険事業会計（事業勘定）	1,766,451	23,304	1,789,755	前年度実績確定及び共済費の増額による補正
	国民健康保険事業会計（直診勘定）	71,733	15	71,748	共済費の増額による補正
	老人保健医療事業	2,010	18	2,028	前年度実績確定による補正
	後期高齢者医療事業	216,086	316	216,402	前年度決算及び共済費の増額による補正
	介護保険事業会計	1,271,395	17,941	1,289,336	前年度繰越金確定に伴う補正増等
	水道事業会計	1,093,360	74	1,093,434	人件費及び岩木配水池耐震診断委託料の増
	簡易水道事業会計	149,291	0	149,291	前年度繰越金の増、消費税の還付による一般会計繰入金の減
	農業集落排水事業会計	297,205	30,566	327,771	千種川河川災害復旧等緊急事業に係る事業費の増
	公共下水道事業会計	923,561	△ 8,324	915,237	消費税確定計算による減
ケーブルテレビ管理運営事業会計	59,976	11,315	71,291	前年度繰越金及び県事業による支障移転補償に係る補正	

民生建設常任委員会

○町外居住者に使用を許可

上郡霊苑305区画うち198区画が使用許可済(使用率64・9%)で、墓碑建立は110基。条例改正により町外から申請が1件あり、使用を許可した。

○駅前広場最終調整案決まる

駅前広場整備は、地元との最終調整案が示され、完成は23年6月の予定との説明を受け、現地の視察をした。



▲ 整備が待たれる駅前広場

○前立腺ガン検診増える

町ぐるみ健診では、前立腺

ガン検診で受診者が約100人増えた。

○災害復旧等関連緊急事業に係る支障物件

赤松水源地及び楠・河野原処理場の移転方法を地元と協議検討中。

○林一(株)上郡工場の移転先候補地として山野里工業団地は、地盤改良に相当の期間を要するため、平成24年4月の移転完了に間に合わない恐れがあり断念。上郡町(播磨科学公園都市内分譲地)と相生市に絞って検討中。

「意見」

町民の雇用継続と税の優遇措置の延長も検討し慎重に対処するように強く申し入れた。

○鞍居診療所の利用状況

平成22年5月末実績
 受診者数 1日当たり41人
 1ヶ月当たり885人
 診療等収入 1日当たり28万円
 1ヶ月当たり587万4千円
 黒字経営です。

○介護保険事業の状況

保険料は全国平均より若干低い。負担額は県平均を上回っ

ている。交通の便が悪いことや通所サービスが好まれていること、数年前より介護施設が増えていることによる。

○平成22年度水稲作付状況

水稲作付面積 471・547ha
 作付達成率 97・98%

議会あれこれ

「議員から見た」

上郡町の借金返済

議員に求められる責務の1つが執行部(町長をトップとする町の行政組織)の行う業務の監視です。町の業務が正しい方向を向いているかどうかを執行部とはちがった角度から検証し、町民の皆様にお知らせすることが議員の責任です。

議会運営委員会研修会

平成22年8月17日(火)神戸市・ホテル北野プラザにて開催され、田淵議長、沖委員長他5名が参加した。「議会運営委員会の権限と役割について」という演題で野村 稔氏(全国都道府県議会議長会元議事調査部長)が講演した。研修を受けてあらためて議運の役割の重要性を確認した。



▲ 議会運営委員会研修会

済*を取り上げます。町が支出する借金に関わる返済額は、次頁の図の「元金返済+利子」の折線で表されるように年々増加しています。21年度までの5年間の平均は自主財源(町税収入額)の約76%です。一方元金をどの位返せているかを示すのが「元金返済-借入」です。自治体は財政状況が悪くても必要な事業は実施し、新たな借入も生じます。折線がマイナス側に振れているのは、借入額が元金返済額を上回っていることを示し、5年間の合計でも借入が返済

を1億円上回っています。この様な厳しい状況を何とか改善し町財政を立直すことが求められています。新たな借金を増やさないと、できるだけ頑張って元金を返済するという当り前のことを地道に進めるしかありません。そのため議員には無駄な事業を認めない、町の支出の更に厳しいチェックを進める、等の努力が求められています。

*「平成21年度決算概要」参照、町ホームページに掲載



藤本ゆうき 議員

問 日本の総人口は今後一貫して減少していくといわれる。少子化による若手人材の急激な減少、老人医療費や介護保険給付の増大、現行の社会保障制度を維持するための多大

人口減少に対する有効打は 住みよい地域をつくる

な負担など、人口減少により生じる様々な問題に町当局はどう対応していくのか。
町長 豊かな自然を生かした定住促進策を推進し、郷土愛をはぐくみ住みよい地域をつくるという姿勢で対応していきたい。

問 将来の負担を考えると「借金を作らない、一円でも多く返す」ことを第一に挙げ

て行政運営をすべきと思うが、町長の見解は。
町長 負担軽減を図る上でも、新しい借金は抑え必要不可欠なものだけに絞っていきたい。また、任意の繰り上げ償還をするための基金積み立てや浮遊財源確保に取り組みたい。

問 虐待問題に対応するためには幅広い協力体制の構築が不可欠であり、行政には子供

児童虐待等における実態と対策について

を守る最大の責務として一層の対策強化が求められている。町の対策を尋ねる。
健康福祉課長 本年設置した家庭相談員と保健センターが一体となり、こども家庭センターなど関係機関との連携を密にし、児童が安心して安全に生活できるように努めていきたい。



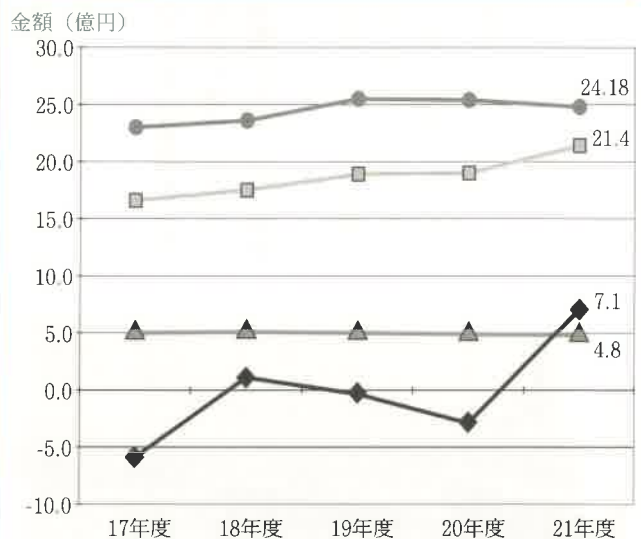
▲ 姫路こども家庭センター



9月7日から9月8日までの2日間、7人の議員が一般質問に登壇しました。主な質問の内容、町長等の答弁の要旨は次のとおりです。

- 1番 藤本ゆうき 議員
人口減少に対する有効打は ……p. 7
- 2番 工藤 崇 議員
情報を開示し安否確認を ……p. 8
- 3番 小寺政広 議員
住民と協働で災害検証を急げ ……p. 8
- 4番 阿部 昭 議員
図書館の建設か図書室の拡充を ……p. 9
- 5番 井口まさのり 議員
町長が目指す理想の上郡町とは ……p. 9
- 6番 山本守一 議員
行財政改革の機能停止か ……p.10
- 7番 大政正明 議員
計画策定にPDCAの導入を ……p.10

上郡町の借金返済の様子



● 町税収入額 □ 元金返済+利子
▲ 利子支払 ◆ 元金返済-借入